⑥ 直接応募
2019年9月13日（金）～2019年10月31日（木）
FAXにて送付

2019 年 9 月 13 日

第 12 回ヤマハ発動機スポーツ振興財団 スポーツチャレンジ賞候補者 推薦募集のお知らせ

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団（YMFS）は、「第 12 回ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞」の受賞候補者の推薦募集を、2019 年 9 月 13 日（金）より開始します。

同賞は、スポーツ振興において多大な実績を残すとともに、その功績によって社会の活性化に貢献した人物・団体を表彰し、受賞者のたゆまぬ努力と成果に敬意を表するものです。競技、指導、研究、普及、ジャーナリズムなどスポーツに関する幅広い分野において、高く評価されるのに相応しい功績を上げ、かつ、これまで注目を浴びることの少なかった「縁の下の力持ち」的な人物・団体にスポットライトをあてています。また、受賞者の活動プロセスやその実像を通して、チャレンジすることの尊さや大切さ、「努力は報われる」ことが社会に浸透していくことを目的としています。

記

■募集期間　2019 年 9 月 13 日（金）～10 月 31 日（木）
■推薦方法　推薦状を FAX にて当財団までお送りください　※P.4の「推薦状」をご使用ください
■賞の概要

	功労賞	奨励賞
対象	長年にわたるスポーツ振興への貢献や、先駆者として実績をあげた人・団体	今後のスポーツ振興に大きな影響力が期待される、その年、極めて高い成果をあげた人・団体
選考のポイント	長年もしくは過去に行われ、年数を経てから高い成果と認められた尊敬に値する礎的、先駆的な取り組みであること。たとえばその競技やスポーツ全体の底上げに貢献した指導者、研究者、トレーナー、審判、ジャーナリストによる活動など。	短期的、もしくは中期的に行われ、その年に高い評価を受けた賞賛に値する取り組みであること。たとえば世界レベルの成果を発揮するにあたり、重要な役割を果たした指導者、研究者、トレーナー、審判、ジャーナリストによる活動など。
賞金／副賞	賞金 100 万円（団体の場合は 200 万円）　賞状・メダル／副賞	

■審査　候補者の中から、2回の選考委員会を経て決定します。
2020年3月発表予定
※審査において、表彰の基準を満たす対象者がいないと判断された場合は、その年の表彰を見送る場合があります。
■表彰式　2020年4月開催予定　※日程の詳細は別途ご案内します。
■主催　公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団
■後援　公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会
※賞の詳細は、当財団 WEB サイトからもご覧いただけます　https://www.ymfs.jp/project/culture/prize/

※この件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。（担当：大庭）

公益財団法人 ヤマハ発動機スポーツ振興財団（YMFS）
〒438-8501　静岡県磐田市新貝 2500
TEL：0538-32-9827　FAX：0538-32-1112
Yamaha Motor Foundation for Sports (YMFS)
2500 Shingai, Iwata, Shizuoka, 438-8501 Japan
Tel：+81 538 32 9827　Fax：+81 538 32 1112

■ 歴代受賞者（敬称略）

第1回 2008年度	功労賞	中野 政美（柔道指導者） 女子柔道の世界レベル選手の育成と女子柔道の発展
	奨励賞	丸山 弘道（車いすテニス指導者） 北京パラリンピック金メダルへのチャレンジ
第2回 2009年度	功労賞	塚越 克己（スポーツ医・科学研究者） 日本のスポーツ医・科学の発展を牽引した「縁の下の力持ち」
	奨励賞	増田 雄一（アスレティックトレーナー） トップレベルのサポート技術を一般レベルに拡大する取り組み
第3回 2010年度	功労賞	高田 静夫（サッカー審判員） 日本人審判員の育成をめざした各種制度の確立と運用
	奨励賞	中村 宏之（陸上指導者） 雪国から世界をめざすトレーニングの独自開発と実践
		中北 浩仁（アイススレッジホッケー指導者） 強化システムの大改革で日本初のメダル獲得にチャレンジ
第4回 2011年度	功労賞	岸本 健（スポーツ写真家） スポーツ写真家の草分けとして、スポーツ報道の機会拡大に貢献
		水谷 章人（スポーツ写真家） 独創的な表現でスポーツの魅力を伝え、スポーツ写真家の育成・環境整備にも尽力
第5回 2012年度	功労賞	樋口 豊（フィギュアスケートコーチ、振付師、解説者） 国際的な信頼と幅広いネットワークを活かし、日本フィギュアスケートの「開国」に貢献
	奨励賞	江黒 直樹（ゴールボール女子日本代表チーム ヘッドコーチ） 「楽しいリハビリスポーツ」の普及をめざした日本女子ゴールボールチーム金メダルへの挑戦
第6回 2013年度	功労賞	臼井 二美男（技師研究員、義肢装具士） スポーツ用義足の第一人者として「走る歓び」を提供する挑戦
	奨励賞	東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 戦略広報部 戦略広報という立場から東京2020招致を支えたプロフェッショナル
第7回 2014年度	奨励賞	妻木 充法（医学療法士、鍼灸あん摩マッサージ指圧師、日本体育協会公認アスレティックトレーナーマスター） 公正なジャッジを支える「鍼治療」の技術
		門田 正久（理学療法士、日本体育協会公認アスレティックトレーナー、日本障がい者スポーツ協会公認スポーツトレーナー、介護予防主任運動指導員） 障害者アスリートのメディカルサポート環境を拡充する取り組み
第8回 2015年度	功労賞	藤原 進一郎（日本障がい者体育・スポーツ研究会 元・理事長、日本障がい者スポーツ協会 元・理事、技術委員会 元・委員長、日本パラリンピック委員会 元・運営委員、極東・南太平洋身体障害者スポーツ連盟 スポーツ委員会 元・委員長） 「すべての障がい者の生活者にスポーツを―」 その信念を貫いた40年
	奨励賞	中島 正太（15人制／7人制男子ラグビー日本代表チーム アナリスト） 先端技術を駆使したデータ分析で、ラグビー日本代表の躍進に貢献
第9回 2016年度	功労賞	今村 大成（株式会社タマス 取締役／Tamasu Butterfly Europa GmbH 社長） 日本若手卓球選手の武者修行を支え続ける「デュッセルドルフの父」
	奨励賞	野口 智博（日本大学文理学部 教授／木村敬一選手パーソナルコーチ） 障害者スポーツ全体の課題に先鞭をつけた挑戦 ～トップ選手の指導からパラアスリート強化の現場へ～
第10回 2017年度	奨励賞	狩野 美雪（デフバレーボール日本代表女子チーム 監督） トップ選手の経験を活かした指導でデフバレーボール日本女子代表を金メダルに導く
第11回 2018年度	功労賞	荒井 秀樹（日本パラリンピックノルディックスキーチーム監督） パラノルディックスキー、ゼロからの挑戦
	奨励賞	日本スケート連盟 スピードスケート科学サポートチーム 平昌オリンピックのスピードスケートマススタートおよびチームパシュート競技へ向けたレース分析サポート

■ **選考委員会**　※2019年9月13日現在（敬称略　五十音順）19名

選考委員長	浅見　俊雄	東京大学 名誉教授、日本体育大学 名誉教授
選考委員	伊坂　忠夫	学校法人立命館 副総長、立命館大学 副学長
	衞藤　隆	東京大学 名誉教授、大阪教育大学 客員教授
	遠藤　保子	立命館大学　産業社会学部 特任教授 名誉教授
	景山　一郎	日本大学　生産工学部 教授
	川上　泰雄	早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授
	北川　薫	梅村学園学事顧問、中京大学名誉教授
	草加　浩平	東京大学大学院　工学系研究科機械工学専攻　ダイレクタ
	小島　智子	追手門学院大学 客員教授
	定本　朋子	日本女子体育大学 名誉教授　特任教授
	篠原　菊紀	公立諏訪東京理科大学 共通教育センター 教授
	杉本　龍勇	法政大学 経済学部 教授
	髙橋　義雄	筑波大学 体育系　准教授
	野口　智博	日本大学　文理学部教授
	福永　哲夫	東京大学 名誉教授、早稲田大学 名誉教授、鹿屋体育大学 名誉教授
	増田　和実	金沢大学 人間社会研究域人間科学系 教授
	丸山　弘道	株式会社オフィス丸山弘道　代表取締役
	村田　亙	専修大学 ラグビー部監督
	ﾖｰｺ　ｾﾞｯﾀｰﾗﾝﾄﾞ	日本女子体育大学 准教授、公益財団法人日本スポーツ協会 常務理事

【ご参考】 スポーツチャレンジ賞スペシャルサイト公開中

当財団 WEB サイトでは、スポーツチャレンジ賞のスペシャルサイト「BACK STORIES」を公開しています。このコンテンツは「縁の下の力持ち」である受賞者たちの人物像や、活動の足跡・実績を深く掘り下げることで見えてくる、チャレンジすることの尊さや大切さを広く社会に伝えていくことを目的としています。

URL　https://www.ymfs.jp/project/culture/prize/backstories/

返信先（FAX）：０５３８-３２-１１１２

公益財団法人ヤマハ発動機スポーツ振興財団事務局スポーツチャレンジ賞推薦受付担当行

※ご多忙の折、恐縮ではございますが、必要事項をご記入いただき 10月 31日（木）までにご返信をお願いします。

	ヤマハ発動機スポーツ振興財団スポーツチャレンジ賞　推薦状		
推薦者	氏 名		
	所 属		
	連 絡 先	住所	
		TEL FAX	e-mail

候補者情報	推薦する賞 （該当する賞に○）	功労賞	奨励賞
	候補者　氏 名 （年齢）		（　　歳）
	候補者　所 属		
	対象となる活動		
	具体的な 成果・功績		
	推薦理由		
	候補者の主な 受賞歴 （過去に受賞がある場合）		